

◆今夏に相続サロン開設、大規模住宅展も

魅力ある企画で停滞感吹き払う

今年8月に創立27周年、不動産会社創業以来51年を迎える株式会社アイランドホームは、この夏から顧客向けの新たな企画やサービスを続々と展開する。7月からの「相続サロン」、11月に開く「津幡町太田 秋の住宅展(仮称)」などである。島畑秀一社長(44)は就任直後から続いた「コロナ禍をはじめ、ロシアのウクライナ侵攻、能登半島地震で、資材高騰による買い控えなどの停滞感を吹き払いたい考えだ。

島畑社長が父親の健二現会長(74)からアイランドホームのかじ取りを任せられたのは2019(令和元年)10月である。住宅用地あつせん、宅地の分譲開発などを主力に健二会長は「嘘をつかない、だまさない」をモットーに、「顧客の利益第一」で業容を拡大してきた。創業者として顧客からの信用は厚く、会社創立当時のアイランドホーム・ファンも少なくないという。健二会長の半生はそのまま島畑社長の目標であり、「50年、良い時も悪い時もあつた」で始まる経営への健二会長のアドバイスは大きな支えとなっている。

約9割の物件情報を管理

同社の営業エリアでは、市場に売り出されている物件情報のほぼ9割の資料を自社で管理し

ているため、物件情報は豊富である。しかも、金沢市内を中心に50社以上の住宅会社と取引があり、販売網が張り巡らされている。個人から企業まで、顧客は実に多彩で、これまでの大きな実績としては、2017(平成29)年に行つた西日本ジェイアールバス北陸支店・金沢営業所移転用地約3000坪の取りまとめ、2020(令和2)年に行つたホリ乳業本社・工場移転用地約4500坪の取りまとめなどがある。それぞれ10〜26人と地権者が多かったが、親身な話し合いでまとまつた。

アットホームな職場環境

株式会社アイランドホーム

- 業務内容 不動産の売買・賃貸・交換・仲介、リフォーム、宅地造成分譲、土工事、損害保険代理業
- 免許番号 宅地建物免許 石川県知事(6)3434号
- 所在地 金沢市八日市4丁目308番地
- 代表者 代表取締役 島畑 秀一
- 資本金 1000万円
- 従業員数 11人
- 定休日 毎月第2水曜日
- 電話 076-249-6688
- ファクス 076-249-7080
- E-mail island-fd@islandhome.co.jp
- 所属団体 (社)全国宅地建物取引業保証協会会員 (社)石川県宅地建物取引業協会会員 全国不動産FC ERAjapan
- 関連会社 シマハタ不動産

公式ホームページは
こちらから



夏からの新企画やサービスを前に力を込める島畑社長(中央)と営業担当社員=金沢市八日市4丁目の本社前

「顧客第一」を貫いて半世紀



イラストが社員にそっくりと評判のCM



2017年から放映され、ほのぼのとした雰囲気を出しているCM



アットホームな雰囲気の本社オフィス

秋の住宅展会場のご案内



秋の住宅展が予定されている津幡町太田の用地

立地、価格面の利点を1人でも多くに

津幡町太田秋の住宅展(仮称)

11月に計7日間

株式会社アイランドホームが計画する「津幡町太田 秋の住宅展(仮称)」は、今年11月24、9、10、16、17の計7日間、全63区画で開く。現在まで既にハウスメーカー9社が出展準備を進めている。

若い世代注目の定住先

津幡町は、金沢の市街地からIRいしかわ鉄道で約10分、車なら国道8号津幡バイパスを利用して約20分と交通の便が良く、ベッドタウンとして

急速に転入人口が増えている。中でも15歳未満人口(年少人口)の割合が高いことから、移住に関する相談・問い合わせに対応する津幡町総務部企画課は「安心して子どもを育てられるまちとして若い世代の定住先に選ばれていることが分かる」(移住定住PRサイト)としている。

主要な施設が徒歩圏内に

住宅展の会場となる太田地区は金沢市に隣接し、こども園や小学校、中学校、病院、ショッピングセンター、ドラッグストアなどが徒歩圏内に集約している。同社はこうした立地面のほか、価格面での利点を一人でも多くに知ってもらうために、地

相続サロン開設

1回目は7月13日、押野公民館で

業務のうち、住宅用地のあつせんが圧倒的に多い株式会社アイランドホームの営業担当者は、商談の中で顧客の相続問題に直面することがある。深刻さの度合いは様々だが、不動産に権利関係は付いて回る。

専門家交え年3、4回開催

そこで、社員の間から出たのが年に3、4回の「相続サロン」開催で、不動産会社が顧客

元メディアやウェブ、SNSなどへの広報や屋外広告、集客イベントなどに知恵を絞っている。同社はまた、来年4月から5月にかけて、能登方面からの新築需要の受け皿として、大型商業施設に近く、利便性の高いかほく市で「2025春の住宅展 in かほく(仮称)」を開催出来ないか、検討に入っている。

のために相続の相談会を定期開催する例は珍しい。島畑社長は「テーマにより弁護士、税理士に答えてもらうことも考えている」という。

1回目は7月13日(土)午前10時から、金沢市押野公民館で「相続はじめの一步セミナー」の身の回りの相続」として島畑社長が講演する。聴講無料で、申し込みは電話、ファクス、Eメールで同社まで。

営業担当社員の声



営業課長
きたまさひで
北真英(41)
2011年入社
宅地建物取引士

ウィン・ウインを心掛ける

元々、大ざっぱな性格でしたが、この仕事に就いてから何事にも細かく気を配ることが出来るようになりました。不動産営業としての私の信念は、必ず双方のお客さまがWin-Winの関係で幸せになるよう心掛けることです。



常務取締役
よしだやすお
吉田安雄(52)
1999年入社 宅地建物取引士
不動産コンサルティングマスター

お客さまとのご縁を大切に

お客さまには、何事も正直にお伝えすること、ご縁を大切にしています。いろいろな業種、年代の方々とお会いできるので、とても勉強になります。役員の一人として、アイランドホームを人々に信頼される、業界トップの企業にしたいですね。



営業
よしだまさや
吉田将也(27)
2021年入社

頼られる営業マンになる

入社してまだ3年しか経っていないので、覚えなければならぬことがたくさんあって苦労しています。アットホームな社内の雰囲気はとてもありがたいですね。お客さまの要望をしっかりと受け止め、頼られる営業マンになりたいです。



営業課長
むらすぎそういち
村杉壮一(40)
2011年入社
宅地建物取引士、相続診断士

仕事柄、長いお付き合いも

仕事柄、想定外の出来事や急な約束が入るので、なかなかスケジュール通りに進みません。しかし、お客さまと長くお付き合いできるのも、この仕事ならではのでしょう。高額な物件を扱う仕事なので、常に緊張感を持って取り組むように努めます。



会長の半生道しるべに どこまでも地元密着で

小学校から高校の途中まで、島畑社長の生活の中心は野球だった。そのせいか、時間ができると、ロードバイク、ランニング、登山など体力勝負のスポーツなどプライベートに時間を割いている。社長就任以来、国内を覆う停滞感にめげず繰り返し出す企画は、父の健二会長譲りの「地元密着」で、会長の半生を道しるべに、アイディアと元気で会社を盛り立てている。

株式会社アイランドホーム 代表取締役社長

島畑 秀一氏 (44)



1979(昭和54)年金沢市生まれ。金沢錦丘高校卒業後、外車ディーラー(エクステリア部)入社、その後運送会社を経て2003(平成15)年アイランドホーム入社、専務取締役を経て2019(令和元)年10月から現職。

需要には精一杯応える

——社長に就任して、そろそろ5年になる。

島畑 2019年は私が40歳を迎えて、しかも北陸新幹線金沢開業のしばらく後で社業が安定していたことなどが就任のきっかけになったと思う。私も、このまま行けば右肩上がりで推移していけると安易に考えていた面もあった。ところが、就任後しばらくして、新型コロナウイルスの拡大で世界中が閉鎖されるような事態になった。2022年にはロシアのウクライナ侵攻が始まり、長期化と共に建設資材の高騰が問題になってきた。そして能登半島地震。この停滞感はいけないと思っている。

落ちている購買意欲

——現在の業況をどう見ているか。

島畑 能登半島地震で被災された方々も皆、故郷の仲間だ。住む場所を失い、大変な思いをしている仲間がたくさんいると思うと、不動産業に携わる者として、いてもたってもいられなくなり、3月に200万円を寄付させてもらった。発災から7カ月、建築に時間がかかることもあって、住宅の購買意欲はピーク時よりかなり落ちていると感じる。また、被災者支援制度を利用して被災した人も少なくないので、売買は多くない。

全力で、真面目に

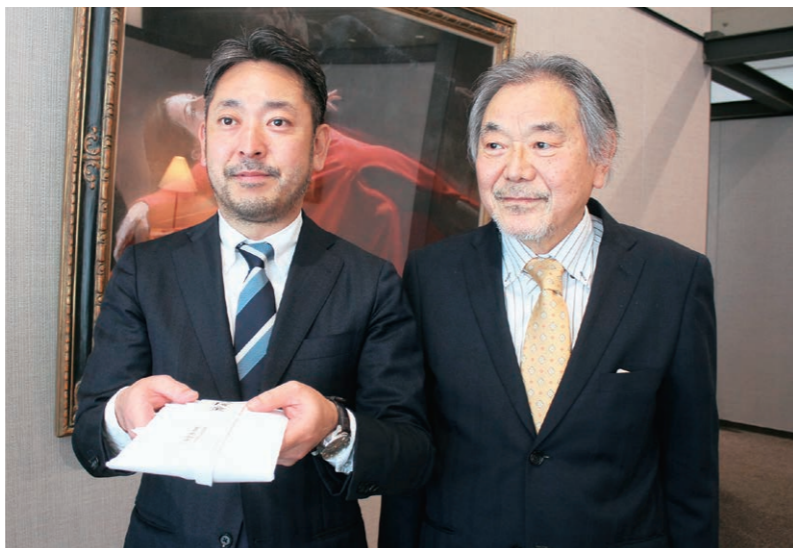
——会長からのアドバイスは。

島畑 50年の間には、良い時、悪い時、そして大きな苦労などいろいろあったと聞いている。しかし、ここまで長く不動産業に携わって行けるのは、会長の全力で、真面目な姿がお客さまの心を捉え、ファンをたくさん作ってきたからだと思っている。私が会長と一緒に仕事をすることができて22年経つが、会長のことを悪く言う人は見かけたことがない。会長を参考に、私も長く携わりたい。

どんな時も地域のため

——目指す会社像は。

島畑 今や様々な情報がネット



能登半島地震の寄付をする島畑社長(左)と健二会長

で取り出せる時代となり、長い目で見れば不動産仲介業の未来が不安になることもある。しかし、アイランドホームはお客さまの側に立って声掛けをする「地元密着」で行きたい。「地元不動産のことなら、アイランドホーム」と言っていただけのように「地域の皆さまが安心できる暮らし」「地域に必要とされる企業」を合言葉に全社一丸となって努力する。



所属する団体の沖縄研修旅行に参加した社員ら